

大学の世界展開力強化事業（令和5年度採択）中間評価結果

大学名	信州大学
整理番号	AA05
事業名	地域 STEAM 教育に関する国際共修人材育成プログラム

公表

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
コメント 本事業は、米国大学と教育使命を共有し幅広い学問領域にまたがる STEAM 教育プログラムを共同で構築するとともに、教育内容・方法の共通化を図り世界基準の質を担保した教育イノベーションを目指すプログラムである。貴学において、本事業の目的である「地域活性化人材」の育成に向け、国際共修授業・実渡航留学・地域課題解決 PBL の 3 本柱を全学的に着実に事業を推進している。 特に以下の点は高く評価できる。第一に、国際共修授業が拡大しており、全学的に COIL や交換留学生との共修が浸透している点は大きな成果である。単なるオンライン交流に留まらず、様々な取組を通じて、学生の国際経験の裾野が広がっている。第二に、米国大学との協議・調整を丁寧に進め、アメリカ側の事情に応じて柔軟な対応を行っている点は、高く評価できる。第三に、地域課題解決型 PBL が具体的な地域と連携して展開され、国際学生と貴学学生が協働する実践的な学修機会となっていることは、本事業の独自性を示すものである。さらに、教育改善の PDCA が機能しつつある点もポジティブな要素である。 一方で、実渡航における派遣学生数は増加傾向にあるものの、大学全体の学生数から見るとまだ限定的であり、プログラムの成果を学内全体に波及させる工夫が求められる。米国内事情の外部環境による影響に備え、代替案や改善策について、より柔軟な検討と対策が行われることが期待される。また、JV-Campus への教材公開が課題であり、情報発信・普及面での今後の進展にも期待したい。 最後に、今後も本事業終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進とともに、将来の我が国と相手国の大学間交流の更なる促進と発展に向け、引き続き積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。	